



<b>目指す児童像</b>	し	自然に親しむやさしい子	令和6年4月16日
	じ	自分で学び考える子	文責
	き	気力・体力を高める子	平戸市立志々伎小学校
	小	将来の夢をめざす子	校長 山田 泰生

## ◆令和6年度 始業式

4月8日(月)に始業式を行いました。子供たちは、真剣に話を聞くことができました。とても聞く態度が良いことに驚きました。

まず、初めに、始業式で私の思いを話しました。

皆さん、おはようございます。新学期の始まりを迎え、皆さんと一緒にこの日を迎えられることを大変嬉しく思います。

新しいクラス、新しい先生。新しいことでいっぱいこの時期は、わくわくする反面、不安もあるかもしれませんね。でも大丈夫です。全員の先生方が、皆さんが楽しく、安心して学校生活を送れるよう全力で助けます。

新学期は新たなスタートです。スタートには目標をもつことが大切です。目標をもつと、計画が生まれ、行動が変わります。失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてみてください。失敗は成功への第一歩です。大切なのは、失敗から学び、何度も何度もあきらめずにチャレンジすることです。「チャレンジ」した結果は、失敗ではありません。「チャレンジ」の先には、「成功」か「学び」しかないのです。本当の「失敗」とは何だと思えますか。本当の「失敗」とは、「何もしないこと」なのです。チャレンジしなければたどり着けない、今までにできなかったことができるようになる、そういった目標をもちましょう。

次に、思いやりの心を持ちましょう。友達の聴こえない声を聴いてください。しょんぼりしている友達がいるとしましょう。その友達の背中を見て、「悲しいな」という声を聴き、「大丈夫？」と声を掛けてください。友達が困っていたら手を差し伸べ、自分が困ったときは友達に助けを求める、そんな、友達と一緒に助け合おうとするやさしい心をもつことが、素晴らしい人間関係を築く第一歩なのです。

最後に、学校は皆さんが主役です。一人一人が輝ける場所であり続けるよう、先生方が皆さんに出番を設けます。皆さんは、そのとき、いつもより「ちょっとした背伸び」をしましょう。例えば、学年代表の発表を任されたとしましょう。

「いつもよりちょっと大きな声で発表しよう」とか、「いつもは原稿を見ているけど、原稿を見ないで覚えて発表しよう」と心に決め、実行することです。そのような「ちょっとした背伸び」が皆さんを成長させます。もちろん、先生方も全力でサポートします。新しい一年が、皆さんにとって素晴らしい一年になるように、頑張りましょう。

それでは、新学期が始まります。一緒に、「ちょっとした背伸び」をして、チャレンジしましょう！

次に、児童を代表しまして、2名の児童が発表を行いました。

### 3年生でがんばりたいこと 3年児童

私は、3年生になってがんばりたいことが2つあります。1つ目は、べん強です。3年生は、2年生とくらべてレベルが上がり、べん強がどんどんむずかしくなると聞きました。べん強の中でも、とくに算数をがんばりたいです。きちんとノートをとって、しゅくだいをして、分からないところは聞いたりして力をつけたいです。

2つ目は、忘れ物です。2年生の時、しゅくだいや月金バックなど忘れ物をしていました。3年生になり、2年生より、つかうものやもってくるものがふえると思います。また6時間目までじゅぎょうがあり、わすれものがあるとたいへんなので、しっかり毎日れんらくちょうをかくにんしてわすれものがないように学校に来ようと思います。

### よし、がんばるぞ！ 5年児童

今日からぼくは、高学年の仲間入りをしました。そこで、5年生になってがんばる目標を改めて考えました。

一つ目は、気持ちや態度を切りかえることです。授業中にとりかたの人とニヤニヤすることがあり、たくさんおこられました。だから、授業中と休み時間のけじめをつけて、きちんと切りかえます。

二つ目は、勉強です。5年生になると今までより勉強がむずかしくなり、勉強する量も多いと思います。だから、先生の話をしっかり聞いて一生懸命勉強します。

三つ目は、運動です。ぼくは、休日に家にいてメディアばかりしていました。だけど体力が落ちていくので、友達と日焼けするくらいまでたくさん外で遊びたいです。

最後に、5年生としての役わりを果たし、6年生のいいところをたくさんまねして、立派な5年生になります。

二人とも、立派な態度で堂々と発表することができ、素晴らしかったです。新学年で頑張ろうという気持ちがとても伝わってきました。

始業式が終わり、〇〇先生と〇〇先生の話がありました。〇〇先生からは、志々伎小学校の5つのめあての話がありました。〇〇先生の話に、大きな声で返事して応える子供たちの目が、真剣そのものでした。先生と子供たちの信頼関係を見ることができ、うれしいものでした。

そして、〇〇先生の保健関係の話がありました。実物を使って、保健目標について話しました。一年目とは思えないような落ち着きでした。

子供も教師も輝く場がありました。